

[化学物理Ⅱ(専門)] (全2題)

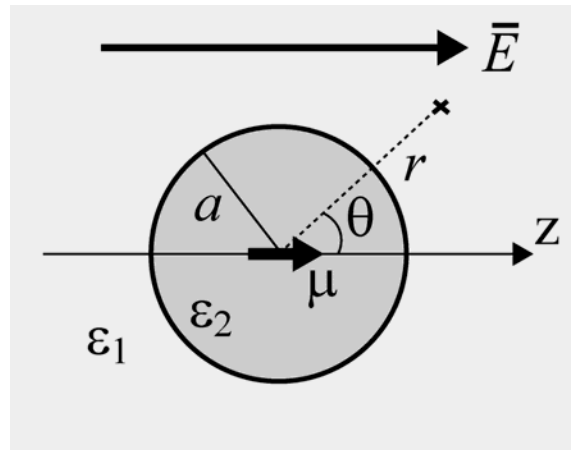
[問題1]

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

誘電率 ϵ_1 の無限にひろがった均一な溶媒中に、半径が a で誘電率が ϵ_2 の球状の物質がある。 z 軸方向に一定電場 \bar{E} がかかっており、中心には z 軸に向いた電気点双極子 μ が置かれている。球状物質の中心を原点とし、空間の点を中心からの距離 r 、及び z 軸とのなす角 θ で表す。ここで、誘電率 ϵ の誘電体中の点電荷 q のつくる静電ポテンシャル Φ_q は、

$$\Phi_q = \frac{q}{4\pi\epsilon r}$$

で表される。



問 A 一定電場 \bar{E} の静電ポテンシャル $\Phi_{\bar{E}}$ を r と θ の関数で表せ。

問 B 誘電率 ϵ_2 の一様な誘電体中の、点双極子 μ による静電ポテンシャル Φ_{μ} を、 r と θ の関数で表せ。

問 C 全体の静電ポテンシャル Φ は、

$$\Phi = A\Phi_{\mu} + \Phi_{\bar{E}} \quad (r > a)$$

$$\Phi = \Phi_{\mu} + B\Phi_{\bar{E}} \quad (r < a)$$

と表される。 $r = a$ での電場 \mathbf{E} の接線成分、及び電気変位 $\mathbf{D} = \epsilon\mathbf{E}$ の法線成分の連続条件を記せ。必要ならば、 $E_a = \frac{2\mu}{4\pi\epsilon_2 a^3}$ と置け。

問 D 問 C の連続条件により，係数 A と B は，

$$A = \frac{\boxed{\text{(ア)}} \varepsilon_2}{\boxed{\text{(イ)}} \varepsilon_1 + \varepsilon_2} - \boxed{\text{(ウ)}}$$

$$B = \frac{\boxed{\text{(エ)}} \varepsilon_1}{\boxed{\text{(オ)}} \varepsilon_1 + \varepsilon_2} + \frac{E_a}{\bar{E}} \frac{\varepsilon_1 - \varepsilon_2}{2\varepsilon_1 + \varepsilon_2}$$

と決まる．空欄 (ア) ～ (オ) に入る数または数式を答えよ．

問 E $\bar{E} \rightarrow 0$ のとき，点双極子 μ により誘起分極された球状物質外部の溶媒が，球状物質内部に与える電場 $\mathbf{R} = (R_x, R_y, R_z)$ を求めよ．問 D の結果を用いてよい．

問 F $\mu \rightarrow 0$ のとき，球状物質外部の静電ポテンシャルは， $\Phi_{\bar{E}}$ 自身と， \bar{E} による誘起分極を表す静電ポテンシャル $\Phi_{\mu'}$ の和で記述される．ここで， $\Phi_{\mu'}$ は誘電率 ε_2 の誘電体中の原点上の誘起点双極子 μ' による静電ポテンシャルで表される． μ' を求めよ．

[問題2]

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

長さ L の 1 次元の箱の中の質量 m の粒子を考える。
ポテンシャルは、

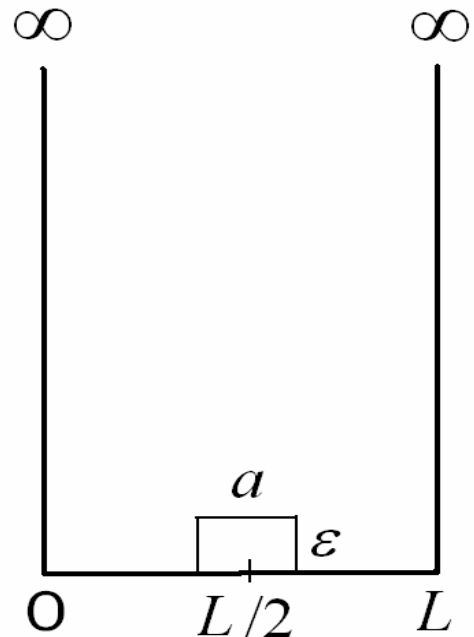
$$V(x) = \begin{cases} \infty & (x \leq 0) \\ 0 & (0 < x < L) \\ \infty & (x \geq L) \end{cases}$$

とする。

問 A $0 < x < L$ における波動関数は、

$$\psi(x) = Ae^{ikx} + Be^{-ikx}$$

と表せる。このとき、エネルギー E と波数 k との関係を書け。



問 B $x=0$ と $x=L$ において $\psi(x)$ の満たすべき境界条件を示し、それらより係数 A と B の間の関係、および波数 k の満たすべき条件を求めよ。

問 C 固有エネルギー E_n ($n=1, 2, 3, \dots$) と、規格化された波動関数 $\psi_n(x)$ を求めよ。

問 D 上記のポテンシャルの中央部分に長さ a 、高さ ϵ の小さなステップ状の摂動

$$H'(x) = \begin{cases} \epsilon & \left(\frac{1}{2}(L-a) \leq x \leq \frac{1}{2}(L+a) \right) \\ 0 & \text{(上記以外)} \end{cases}$$

を加えたとする。問Cで求めた非摂動の波動関数 $\psi_n(x)$ に対する $H'(x)$ の期待値が、

$$H'_n \equiv \langle \psi_n(x) | H'(x) | \psi_n(x) \rangle = \epsilon \left[\frac{a}{L} - \frac{(-1)^n}{n\pi} \sin\left(\frac{n\pi a}{L}\right) \right]$$

であることを示せ(これは 1 次の摂動エネルギーである)。

問 E $a = L/6$ のとき, 基底状態 ($n=1$) と第一励起状態 ($n=2$) について, H'_n を計算せよ. (ε の定数倍の形で, 小数点以下3ケタまで示せ.) 両者の結果を比較し, その大きさの違いについて, 波動関数の形に基づいて定性的解釈を述べよ. (必要ならば, $\sqrt{2} = 1.41$, $\sqrt{3} = 1.73$, $\pi = 3.14$ を用いてよい.)

問 F 1 次の摂動論によれば, 摂動 $H'(x)$ があるときの波動関数は, 非摂動の波動関数 $\psi_n(x)$ を用い

$$\psi'_n(x) = \psi_n(x) + \sum_{m \neq n} c_m \psi_m(x)$$

と近似される. このとき, 量子数 n の偶奇によって, 摂動補正項に含まれる $\psi_m(x)$ の m の偶奇はどうなるか, 理由とともに述べよ.